

【財団への提案・要望】

- 丁寧な支援
- 身の丈にあった活動計画（プログラムを減らす）
- 本当の地域ニーズの把握
- 財団のロジックモデルの作成と成果の確認
- ロジックモデルを応援できる見せ方に
- ゼロからできることをする中で拡大
- プログラムの絞り込み 分野と規模で割ると細かくなりすぎる
- あえて事業は抑え、準備期間に
- 助成事業の成功事例をもっとアピール
- 有給職員は必要？
- 有給スタッフが働く場として「普通の職場」に
- スタッフさんのケアができる支援（スキル・こころ）
- スタッフ育成成功体験（地域が変わる）を積む
- コーディネーターの育成と増員
- 「ヒト」の自転車操業から脱する
- 組織はコミュニケーションで成り立つ
- 代表・役員のコミュニケーション力を高める
- 個別ヒアリングをする場を設けてはどうか？（プロボノ経験者が声かけしますよ）
- ベテランプロボノの活用←効果的なフィードバック
- 団体やプロボノ支援者に声がけしたのか？個別にメールぐらいしてもよいのでは？
- 賛助会員の裾野をもっと広げたい。ドミノになりようのないスカスカの密度なので
- 関係者との対話
- 支援団体の地元の間支援との連携
- 参加者の拡大（ここに来る人）
- 期待するボランティア、役割の明確化（プロボノ）
- 会員との対話の機会
- 支援者を増やす
- 行政の信頼性づくり
- 質問・疑問をそのままにしないでいただきたい。今日の疑問はどこへ？ガス抜き？
- プロボノなどのグループから会費を徴収する仕組みを検討しては？
- 全会議、議事録の公開
- 時期が悪い→4月は異動
- チラシの文字が小さい
- ネーミングにこだわりすぎないで（誰もがわかるように）
- 意見を大切に
- これからできること、これまでとの違いについての情報発信
- 寄付の単価アップ 効率性↑
- 解体
- 選考のオープン化（難しそうですが）
- 公益財団のメリットを最大限活かす
- ノウハウ等蓄積方法はお手伝いします
- ITについてお手伝いします
- HPを変えましょう。「守ること」を前面に
- ボランティアの募集方法 SNSの活用？
- コンプライアンス研修の実施
- 東海チャプターのメンバーも定期的に集まれるような場にしては？
- 今後、前代表と連携することはある？
- 質問したことが提案です
- 「ちがい」と「強み」を見出す
- 選択と集中